

旅の目的、ヘンなモノ探し！

ふきあげ内科胃腸科クリニック 院長 蟹 江 治 郎

皆さん、こんにちは。ふきあげ内科胃腸科クリニックの蟹江です。唐突な情報提供となりますが、私、旅人です。旅をするために日常生活を耐え忍び、ただただ旅立つ日を待ち続けます。

ところで皆さんは旅に何を求めますか？グルメ？絶景？温泉？私ももちろんそれらに興味はあるものの、それ以上に萌えるのは“旅先のヘンなモノ”です。今回は今まで観てきた心躍る情報を、少し紹介したいと思います。

【何だ、この地名は！】

地元愛知県は豊田市の地名となりますが“ジュリンナ”なる地名があります。漢字はありません、カタカナです。もちろん女性の名前でもありません。地名に関心があり興味津々で訪れたのですが、特にこれといった見所はありませんでした。ここには酒呑ジュリンナ遺跡（しゃちのみじゅりんないせき）という縄文遺跡があるのですが、かなりマイナーな史跡らしく、残念ながら見つけることさえ出来ませんでした。不思議なことにこの一帯、ジュリンナ付近の地名も変わっていて、ウジエ、ヨーツク、サクソなるカタカナ地名もあり驚かされます。ただジュリンナに比べれば、まあインパクトは少ないですね。

交差点名も興味津々です。長崎県は五島列島の中通島（なかどおりじま）に“蛤”という交差点があります。離島旅は食事する場所が見つけられず、飢えることがしばしばですが、そのようなときに、この交差点を見つけてしまい飢えが増して最悪でした。また、最近見つけた交差点ですが、石川県は羽咋市（はくいし）では何と“猫の目”という名称の交差点を発見！この交差点、発見した時は驚きのあまり、こちらの目が猫の目状態になりました。

【大げさに見えて大げさでない道路標識】

鹿児島県の喜界島（きかいじま）にお邪魔したときのこととなりますが、“蝶に超注意！”との道路標識を発見しました（図1）。蝶をよく見かけることで有名なバタフライロードなる小道があり、その場所にあげられてい



図1 蝶に超注意!の標識

る標識です。また大げさな、とタカを括って訪問したところ、本当に蝶の大群に遭遇し思わずレンタカーを減速！まさに蝶に超注意なマジ標識でした。

【個性際立つオブジェいろいろ】

個人的には北海道は紋別市、流水科学センター横にあるカニの爪のオブジェが好きですが、オブジェの宝庫といえば沖縄県と確信しています。なかでもイチオシは何ととっても、沖縄県国頭村（くにがみそん）のヤンバルクイナ展望台（図2）でしょう。僕は基本的に旅先の下調べをしません。その時も下調べ無しスタイルで現地に向かい、目的地の名称からして当然ヤンバルクイナが観られる



図2 ヤンバルクイナは観られない展望台

展望台だ、と思い込んで訪問。しかし、訪れてみると何と展望台の形がヤンバルクイナで、残念なことに展望台からはヤンバルクイナは観られませんでした。

さらに宮古島の横にある来間島（くりまじま）にはタコ公園なる場所があり、ここにも予想を上回るオブジェが！このタコオブジェ、車を降り遊歩道（というか山道）を10分ほど歩いてようやくたどり着きます（図3）。さらにココ、タコオブジェ以外は何もなく、真紅のタコが異様な存在感を醸し出しています。是非とも皆さんこの唐突な出合いを体験してみてください。



図3 唐突に出現する派手な色のタコ

【動物で目が真ん丸】

鹿が闊歩する公園としては、奈良公園や厳島神社が有名ですよね。しかし、北の大地にも鹿多発地帯のエリアがあります。「北海道で鹿は珍しくなろうが!」との厳しい御意見もあろうかと思いますが、稚内ノシャップ岬近くの造船所の敷地内の広場、本当に鹿だらけです。鹿密度に関しては間違いなく前述の有名所より上です。(鹿せんべい小屋はありません。)

次にビックリしたのは沖縄県の与那国島の馬でしょうか。この馬の正体は島の特産品であるヨナグニウマで、島を巡っていると牧場があり馬を沢山見かけ、敷地内ではサファリパークのごとく彼らに取り囲まれます。こちらについても「牧場だから馬がいてもおかしくない!」と怒られそうですが、この馬たち、営利目的または農耕目的に利用するものではなく、単純に愛玩動物として飼育されていると聞き驚きです。観光用とも言われていますが、島の観光スポットの道は馬の糞だらけで、観光客にとって甚だ歩きにくく逆に大迷惑です…。

【石油臭のする温泉?】

温泉って良いですね。個人的にはつるつるヌルヌルのウナギ肌になれる泉質が大好きで、今のところ一番のお気に入りには岩手県にある山の神温泉の優香苑、こもれび乃湯でしょうか。一方、個性的で驚かされる泉質の湯もあります。その最右翼として思い浮かぶのは、北海道は豊富町の豊富温泉(とよとみおんせん)ですね。何の前知識も無しで訪問、風呂の扉を開けた瞬間、石油の匂いがしてビックリ仰天です。思わず温泉分析書をガン見しましたが、同書には“(ホ) 知覚的試験: 淡黄色白濁、カン味、石油臭”と記載があるではないですか。調べてみたところ世界的に珍しい原油を含んだ泉質とのこと、確かにお湯に油膜のようなものがありました。北海道の方は本当にたくましいです。

【ユニークな自販機と UFO キャッチャー】

旅をしていると、変わったものを売っている自動販売機を見つけることがあります。北の横綱として思い出すのは、北海道の留萌“道の駅るもい”にある自販機でしょうか。何と瓶詰め数の子売ってます(図4)。さらに同じ自販機内で、プリン、ケーキ、帆立メシの購入も可能とまさに地元特産品のカオス状態です。また、我が町名古屋では濃縮アゴ出汁の自販機を、千年の都である京都では仏国料理のデリバリー用自販機なども発見済みです。そして南の横綱として推薦したいのは、沖縄県は那覇市内の路上にあった焼き芋の自販機ですね。この自販機、焼き芋自体の販売も驚きですが、そもそも暑い沖縄で焼き芋を食べる機会は来るのでしょうか?



図4 道の駅るもいの数の子自販機

り用自販機なども発見済みです。そして南の横綱として推薦したいのは、沖縄県は那覇市内の路上にあった焼き芋の自販機ですね。この自販機、焼き芋自体の販売も驚きですが、そもそも暑い沖縄で焼き芋を食べる機会は来るのでしょうか?

番外編で自動販売機ではありませんが、北海道は釧路市で、活毛蟹を捕獲する UFO キャッチャーなるモノも発見しました(図5)。活毛蟹ですので当然カニは動いています。これでは普通にキャッチしようとしても、自力で逃げてしまうのではと思うのですが…。



図5 活毛蟹の UFO キャッチャー

【日本最長の私道と列車が通らない踏切】

私道というと皆さんはどういった道路を想像しますか? 一般的にイメージされるのは、一車線幅の短い道路ですよね。ところが世の中には超弩級の私道があるんです。それは山口県の超大手企業である宇部興産の所有する“宇部興産専用道路”です。その全長は31km、片側二車線で外見はまさに高速道路です。さらにこの道路、海を渡るため全長1,020mの興産大橋なる橋まで備えています。宇部興産の構内には専用道路を走る車両用の踏切もあり、初めてこの地を訪れ、なにげなく踏み切り待ちをしていたら、目の前を列車ではなく自動車が通り過ぎ、ひっくり返りそうになりました(図6)。余談で



図6 列車が通らない踏切

すが、もし宇部の町を訪れ食事をする機会があるのなら、メニュー全てが手作りで昭和レトロな雰囲気もたまらない“ウベ食堂”を激しく推薦します。

【さいごに】

以上とりとめもなく、旅先で見つけた気になったモノを紹介させていただきました。という事で最後にもう一つだけ紹介。北海道は北見市の観光? 施設、さんりんかん(図7)。ココはあえて説明はいたしませんので、旅ヲタクの方は気が向いたら訪れていただき、ノークレームでお願い致します。それでは皆様のご多幸をお祈りしております。



図7 さんりんかん